



発 行

南部地域振興課(沼隈支所3階)
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
TEL 980-7713
FAX 987-2382

Web は
こちらから

E-mail: nanbu-chiikishinkou@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「みなみ風」で検索!

福山市南部地域振興課

検索



復興と伝承 そして…

～広島市豪雨災害を体験して～

日 時 2月7日(土) 13時 30 分～

会 場 山南交流館

福山市沼隈町中山南 7479 番地



まつい けん
講 師 松井 憲さん

広島市豪雨災害伝承館 副館長



- 入場無料／手話通訳・要約筆記あります。
- 主 催 熊野学区人権学習推進協議会／山南学区人権学習推進協議会／熊野交流館／山南交流館／瀬戸コミュニティセンター／南部地域振興課
- 問合せ 南部地域振興課 ☎ 084-980-7713/Fax 084-987-2382

城西校区人権学習講座 第1講座報告 2025年10月31日（金）に、公益財団法人反差別・人権研究所みえの松村元樹さんをお迎えして、見出しの講座がありました。

私たちの多くは憲法で定められている移動の自由により、全国どこへでも訪れる事ができます。しかし、段差や言語の違い等による移動困難さを感じる人々の存在を見落としがちです。多数派が当たり前と思う便利な日常生活では、社会全体の人権に対する関心が低くなります。

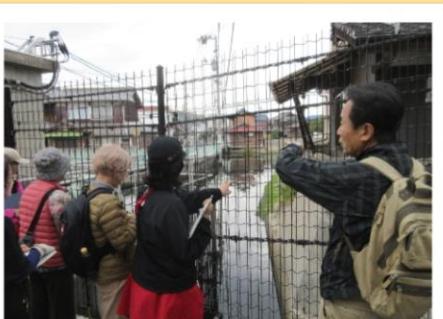
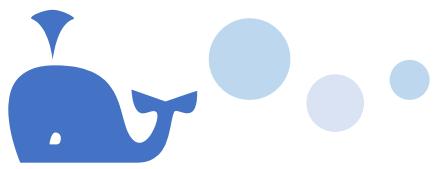
そこで、松村さんは人権の視点を少しでもわかり易く伝えていく一つの手がかりとしてアニメの作品の一つ「ワンピース」を取りあげ、ストーリーや登場人物の描き方から人権問題を話されました。

例えば、「魚人族」で描かれる差別や排除、迫害の言動などは現実の日常生活の場面でも見聞きします。「ワノ国」の話からは身分制度が伺え、未だに続く部落差別の問題を考えることができます。また登場人物の言葉の端々には男尊女卑のやりとり、「ヤマト」「お菊」などからは性の多様性を読み取ることができます。



一つひとつを解説しながら、最後は国際社会と日本の人権教育の定義の違いや、「知らない」「教えない」「何もしない」ことが、誰かの人権をいかに傷つけているかを想像しながら、社会と自身のありようを自覚して学び続けていきましょうと、結ばれました。

プラうつみ を開催しました！



2025年11月24日(月・祝)にうつみ市民交流センターで
プラうつみを開催しました。

当日は、内海町からだけでなく、沼隈町や福山市内からも含めて、37人が参加されました！

ブラブラとみんなで楽しく内海町を歩きながら、福山市立大学都市経営学部都市経営学科の澤田結基教授とスタンフォード大学の宮本住逸客員教授、さらに地域のみなさんから内海町の魅力を教えていただきました。

参加者からは「住民でありながら、知らないことが多く勉強になった。」「参加者と話をしながら歩けたのも良かった。」という感想もありました。

内海町の魅力を再発見できただけでなく、歩きながらのおしゃべりで、参加者同士の交流も生まれたようです。一日を通して長いフィールドワークになりましたが、内海町のことをもっと好きになる楽しい時間を過ごすことができました。

山本灌之助に学ぶ 書道等作品展

2025年11月11日(火)から16日(日)まで、毎年恒例の標記の書道等作品展を開催しました。ぬまぐま交流館2階市民ギャラリーの特設展示会場は、寄せられた作品が壁一面に貼り出されました。

作品は、おなじみの至誠中学校、想青学園、常石ともに学園、山南小学校、沼南高等学校、松永高等学校、絵手紙サークル花水木(能登原)に加え、初めて沼隈特別支援学校、福山工業高等学校、さらに松永絵手紙友の会からも参加して



くださいました。

毎年続けることで、児童生徒を中心に世代を超えた多くの方が山本灌之助の教えに触れ、さらに、これを見る人に響き渡り広がっていると思います。

作品展は終了しましたが、ぬまぐま交流館の1階には常設の山本灌之助記念室があります。ぜひお立ち寄りください。(福山市沼隈町常石1810番地)